



中筋小学校だより

校訓 ～ 強い身体 正しい心 ～

舞鶴市立中筋小学校
 学校だより 11月号
 令和5年10月31日発行
<http://nakasuji.maizuru.edumap.jp/>
 ☎75-0372



一生懸命の“涙”



小学校で子どもの“涙”を見る場面というのは、体の調子が悪くしんどい時やけがをした時、友達とけんかをした時、いやなことをされたり、言われたりした時などがほとんどです。苦しい練習を乗り越え、一つのことをやり遂げた達成感からの涙、感動したときに流す涙などは、小学生の子どもたちではなかなか目にすることはできません。学校生活の中で、そんな貴重で素敵な涙を見た時には、それを見るこちらにも思わずらい泣きをしようになります。そして、改めて「子ども」という存在の尊さを実感し、心が洗われる気持ちになります。

10月7日（土）創立150周年記念秋季大運動会を開催しました。今年度は4年ぶりに参観の人数制限を設けずに開催したところ、大変たくさんの皆様に来校いただき、子どもたちの一生懸命頑張る姿を披露することができました。大変うれしく思っております。ありがとうございました。

子どもたちは運動会を、学校生活の中でも大きな行事として位置付けています。出場する種目で1番になれるよう努力をしたり、演技では間違えないように、家でも自主練習を積んだりして、この日に向けて一人一人本当に一生懸命取り組みます。結果、運動会を終えた後は、当日はもちろん当日までの自分の頑張りに満足し、また一つ自信をつけることになります。



そんな子どもたちを大きく成長させる今年の運動会で、素敵な場面に出会いました。それは、演技が終わった時でした。これまで練習してきたことをすべて出し切り、本当に素晴らしい、見ている人たちに大きな感動を与える演技を見せてくれた子どもたちの中に、大粒の涙を流す子どもが何人かいるのが目に入りました。そして、その子たちを見つめる指揮台に立つ教員の目からも涙がこぼれ落ちていました。泣いている子は、人前ということも関係なく、演技をやり切った達成感と仲間とともに一つのものを作り上げた充実感に任せるままに感情を表現していることはすぐに理解できました。あふれる感情を抑えきれずに、感動を涙という美しさで表現した子どもたち。そこには何の恥ずかしさや作為的なものもなく、あふれ出る感情を素直に表した本当に素敵な場面でした。こんな子どもたちに出会える教師という仕事はやっぱり素晴らしいです。私の好きな詩人のあいだみつおさんがこんな詩を書いています。「涙で洗われたまなこは、きよらかでふかい」こんな素敵な一生懸命の涙が流せる教育活動をこれからも生み出していけるように、子どもたちと共に頑張っていきたいと胸を熱くしました。素晴らしい感動をありがとう。

明日から11月を迎えます。朝夕の寒さが身に染みる季節になってきました。寒暖差の大きい日々ですが、健康管理には十分に留意させ、子どもたちが生き生きと活躍し、まさに勉強の秋、運動の秋、芸術の秋を満喫する場面が見られるように教職員一同一丸となって取り組んでまいります。今月も保護者・地域の皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、お願いいたします。

校長 亀井 敬介 教職員一同

「できた」「分かった」と 実感できる学びを

4月に6年生を対象とした全国学力・学習状況調査を実施しました。今年度は国語・算数のテストを行いました。新聞報道でも問題を目にされた方もいらっしゃると思いますが、このテストは今の小学6年生に求められている力が問題に投影されています。

本校の結果としては、2教科共に全国の平均値を六～七ポイント上回る結果になりました。児童の学習への意欲や態度面を聞く質問紙調査の結果からは、「授業におけるICT活用」の項目で、受験児童全員が意欲的に活用し、学習に役立つと実感しているという結果でした。また、多様な意見を出し合い、それについて考えることが楽しいと答えた児童も八割を超えていました。情報化や多様性といったこれからの時代に必要となる力を身に付けるために、児童が意欲的に取り組んでいることが分かります。反対に「自分で考え、自分から取り組む力」には課題が見られます。

児童にとってこれからの時代に求められる必要な力を確実に身に付けられるよう、児童が主体的に学び、「できた」「分かった」と実感できる授業づくりを引き続き進めていきます。また、身に付けた知識・技能を使って生活の中で活用してみようという意欲を一層高められるよう、取り組んでいきます。